

セキュリティ引戸 取扱説明書

<ツマミ式自動施錠>

※ 本錠は戸を閉めれば施錠する自動施錠（オートロック）です。
必ず下記要領にて施錠・解錠手順をご確認下さい。

1. 出荷時の記憶番号は（ CA9163 ）です。

2. 錠のかけ方

道路側： 戸を閉めると、自動で施錠されます。

現場側： 戸を閉めると、自動で施錠されます。

※戸を閉めても鍵がかからない状態（空錠）に切替えることもできます。

（「4.空錠切替え」の項、参照）

3. 錠の開け方

道路側

① Cボタンを押して下さい。

誤操作の記憶ボタンが解除されます。

② 記憶ボタンを確実に押して下さい。

③ ロックターン操作で解錠されます。

ロックターンから手をは放して戸を開けて下さい。

（再施錠するまで開錠状態）

入退場後は必ず戸を閉めて下さい。

現場側

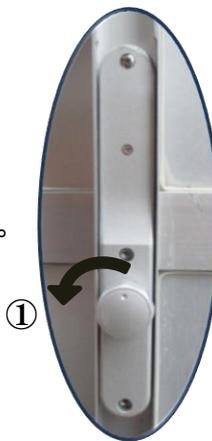
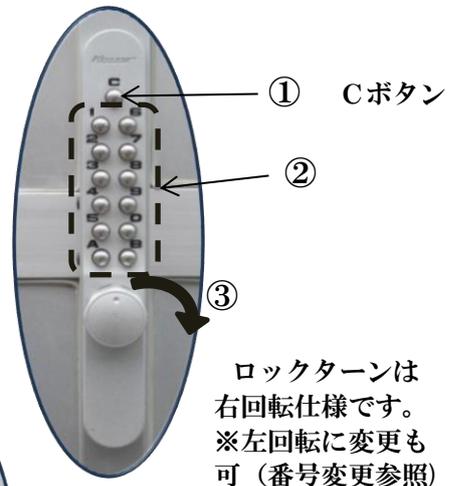
① ロックターン操作で解錠されます。

（左右どちらの回転でもよい）

ロックターンから手を放して戸を開けます。

（再施錠するまで開錠状態）

入退場後は必ず戸を閉めて下さい。



4. 空錠切替え

下記の通り、空錠切替プラグをタテ向きにすると戸を閉めても

鍵がかからない状態になります。



イラストはロックターン右回転仕様

「空錠」から「自動施錠」へは、上記の反対にヨコ向きに回します。



株式会社 テクノジャパン

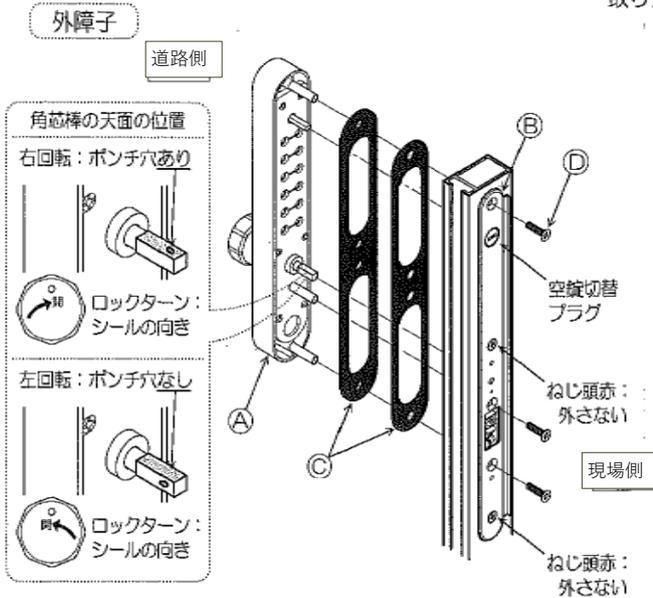
<https://www.techjpn.co.jp>

1412-15

5. 記憶番号の変更手順

【1】キーレックス本体を取り外します

⑥外障子用HAD錠の空錠切替プラグの溝はヨコ向きで外します。
取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。



【外障子】

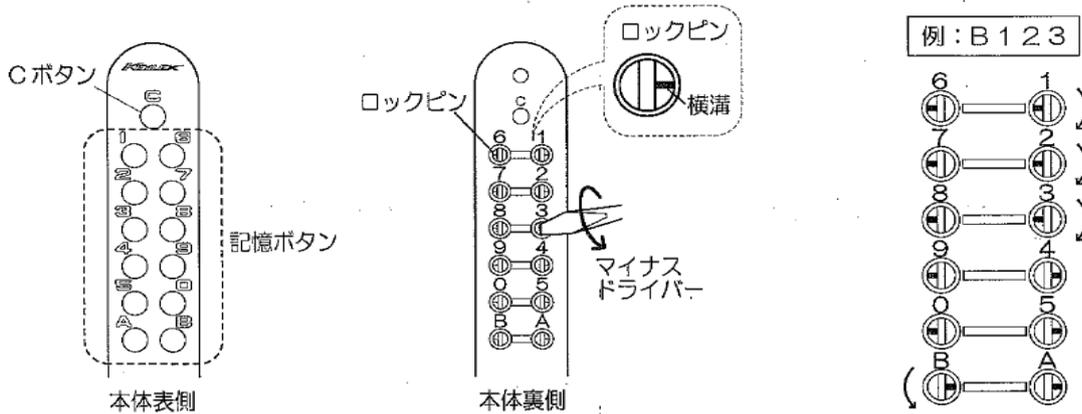
- I: ① 外障子用取付ねじ3本を外し、
- ④ キーレックス本体を落とさないように外します。

※ ⑥ 外障子用HAD錠を固定している、
ねじ頭赤のねじ2本は外さないでください。

※ ④ キーレックス本体をセット時の角芯棒の向きでロックターンの
解錠方向の向きを決めます (キーレックス本体のみ)。
右回転: 角芯棒の天面をポンチ穴ありにして取り付ける
左回転: 角芯棒の天面をポンチ穴なしにして取り付ける

【2】記憶番号の設定変更をします

- ① 本体表側の **C ボタン** を押します。⑤まで、記憶ボタンは押さないでください。
 - ② 本体を裏向きにし、記憶されているロックピンを回転させ (右側は左回転, 左側は右回転でロックピンの横溝を外向きにする) すべてをクリアします。
 - ③ 新規に記憶させる番号を必ず記録します。本紙1ページに記入欄があります。
 - ④ 新しい記憶番号のロックピン横溝を中央部の横溝にあわせます。
- ※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。



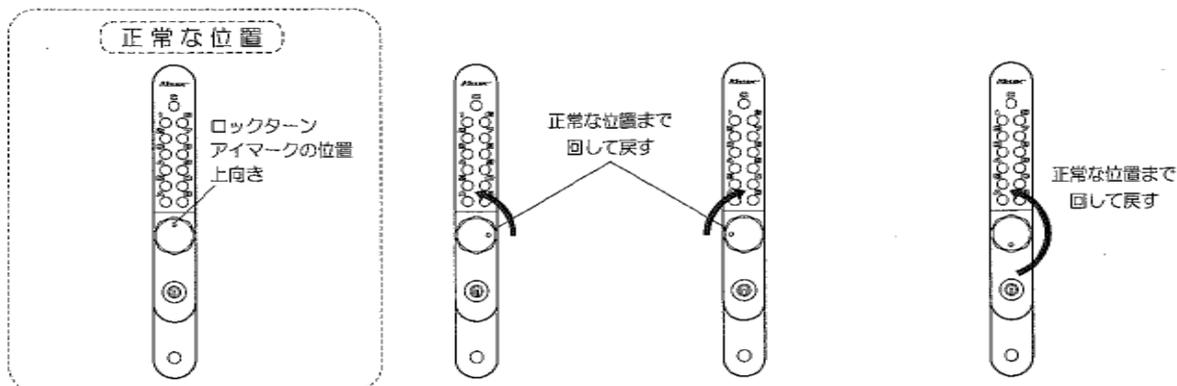
⑤ C ボタン+新しい記憶番号を押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。

【3】本体を取り付けます。【1】と逆の順番で取り付けます。
角芯棒のポンチ穴に注意し、
空錠切替プラグの溝はヨコ向きで取り付けます。(上図参照)

6. ロックターンの位置が正常でない時

ロックターンのアイマークの位置が、下図になった時は、正常な位置（上向き）に戻します（外障子・内障子共）。

ロックターンに『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にロックターン操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、ロックターンが空転して、アイマークの位置が動きます。故障ではありません。



7. 記憶番号設定に関するご注意

- KL800は1～12桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3、と押しても 2・3・1、3・1・2、1・3・2、と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。(同じボタンを2度押しする設定は出来ません)
例) 1・1・2・3、や 1・2・2・3、の設定はできません。

8. 危険防止の為に下記の注意事項をお読みください。

■取付ネジのゆるみ

- 各部取付ネジのゆるみは、防犯及び落下防止の為に、定期的に増し締めして下さい。

■本体の設置

- 引戸本体は規定通り設置して下さい。
レベルがとてれいなかったり、仮囲いのパイプ等に無理に取り付けると開閉支障をきたし、故障の原因になります。

■他の用途での使用

- ロックターンにぶら下がったり、足や物を掛けたりしないで下さい。
- 製品の分解、改造はしないで下さい。

■操作上の注意

- 製品の分解、改造はしないで下さい。
- ボタンを押しながらロックターンの操作をしないで下さい。
- スイングロックを突出させた状態で戸を閉めないで下さい。
- 鍵ケースへの潤滑剤使用はさけて下さい。
- 表面の手入れは柔らかな布でから拭きして下さい。
汚れのひどい場合は中性洗剤を使用して下さい。